

The Molecular Biology Society of Japan

# MBSJ NEWS

日本分子生物学会

2025.11

No.143

# 会報

## 目次

|                                        |    |
|----------------------------------------|----|
| ■ 令和8年度（第48回）通常総会のご案内                  | 1  |
| ■ 年度会費の改定について                          | 2  |
| ■ 第48回日本分子生物学会年会（MBSJ2025）開催のお知らせ（その4） | 3  |
| ■ キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナー 2025           | 9  |
| 「食いつぶぐれない研究者としての人生」                    |    |
| 「ところ変われば戦略変わる～キャリアパスの最前線～」             |    |
| ■ AMED 共催：研究倫理委員会企画・研究倫理ランチョンセミナー      | 10 |
| 「研究不正を考える—私たちが何をすべきか？」                 |    |
| ■ 第48回年会・学会企画 MBSJ Forum               | 11 |
| 「著者からエディターへ：日本の科学を世界へ発信する橋渡しになろう」      |    |
| ■ Genes to Cells 編集委員一覧                | 12 |
| ■ 第49回日本分子生物学会年会・第99回日本生化学会大会          | 13 |
| 合同大会（BMB2026）開催のお知らせ（その1）              |    |
| 【大会長の挨拶 その1】                           | 13 |
| 【大会組織】                                 | 14 |
| 【プログラム概要】                              | 15 |
| 【公募シンポジウムの企画公募について（2026年1月30日(金)受付締切）】 | 16 |
| 【日程表（予定）】                              | 21 |
| ■ 第24期第2回（臨時）理事会記録                     | 22 |
| ■ 令和7年度（第1回）臨時総会記録                     | 25 |
| ■ 学術賞、研究助成の本学会推薦について                   | 28 |
| ■ 第24期役員・幹事・各委員会名簿                     | 29 |
| ■ 賛助会員一覧                               | 30 |



特定非営利活動法人  
日本分子生物学会

<https://www.mbsj.jp/>

# 共

～ 広がる生命科学 ～

# 鳴

BMB2026  
Special Symposium  
Speakers



山下 由起子  
(マサチューセッツ工科大学)  
Photo: Greg Kahn (HHMI)



柳沢 正史  
(筑波大学)



David Julius  
(カリフォルニア大学)  
Photo credit: UCSF



Feng Zhang  
(マサチューセッツ工科大学)  
Photo: Allison Colorado

第49回 日本分子生物学会年会

第99回 日本生化学会大会

第49回  
日本分子生物学会年会  
年会長  
水島 昇  
(東京大学)



第99回  
日本生化学会大会  
会頭  
胡桃坂 仁志  
(東京大学)



## BMB2026 合同大会

■演題登録期間：2026年6月15日(月)～7月14日(火) ■早期参加登録期間：2026年6月15日(月)～9月30日(水)



# 2026年12月1日(火)～4日(金)

## パシフィコ横浜

<https://www.aeplan.co.jp/bmb2026/>



## 令和8年度（第48回）通常総会のご案内

令和7年11月

会員各位

特定非営利活動法人 日本分子生物学会  
理事長 木村 宏

以下の要領で第48回通常総会を開催しますので、お知らせいたします。

ご承知のように、本法人の重要な案件は総会で決定されます。総会成立には、正会員、名誉会員、シニア会員、次世代教育会員の総数の1/2以上の出席（委任状を含む）が必要となりますので、会員皆様のご積極的なご参加をお願いいたします。

### 記

日 時：令和7年12月4日(木) 19:15～20:15

会 場：パシフィコ横浜 会議センター 3階 311+312（第6会場）

予定議題：1) 経過報告（理事長報告、庶務報告、編集報告、その他）

2) 令和7年度（2025年度）決算承認の件

3) 令和8年度（2026年度）活動予算書承認の件

4) その他

◎以下のいずれかでご出欠回答をお願いいたします。

**正会員、シニア会員、次世代教育会員でご都合がつかない方は、必ず委任状をご提出ください。**

①学会ホームページに設置されている出欠回答（委任状）フォーム

（右のQRコードからアクセス）

②学会よりメール配信された回答フォーム（10月下旬配信）使用によるメール送信

③新年度の会費請求書（10月下旬発送）に同封されている出欠はがき



※②は年会準備の都合上11月25日(火)必着をお願いいたします。

※学生会員には本法人の定款上、議決権はありませんが、総会へのご出席を歓迎いたします。①または③より「出席予定 / 出席予定なし」と読み換えてご予約をお知らせください。

※総会会場にて軽食をご用意する予定です。

（先着順 / 数に限りがありますこと、ご了承ください）

## 年度会費の改定について

2025 年 10 月  
特定非営利活動法人 日本分子生物学会

2025 年 9 月 25 日に開催された令和 7 年度（第 1 回）臨時総会で年度会費の改定案が承認されました。  
本学会の新年度（2026 年度）より、改定後の年度会費が適用されています。

|               | 改定前（2025 年度まで） | 改定後（2026 年度より）         |
|---------------|----------------|------------------------|
| ■入会金（*の会員）    | 1,000 円        | 1,000 円（変更なし）          |
| ■年度会費         |                |                        |
| 正会員*・次世代教育会員* | 6,500 円        | 7,500 円                |
| 学生会員*         | 3,000 円        | 初年度 0 円、2 年目から 1,000 円 |
| シニア会員         | 3,000 円        | 3,000 円（変更なし）          |
| 賛助会員          | 一口 40,000 円    | 一口 40,000 円（変更なし）      |

※本学会の会計年度は 10 月 1 日から翌年 9 月 30 日までです。

2025 年度：2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

2026 年度：2025 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日

※学会の「年度会費」と「年会参加登録費」は異なります。例えば正会員が会員として年会に参加し発表を行う場合、入会金や年度会費とは別に、年会参加登録費の納入が必要となります。

※日本分子生物学会の消費税の取扱いについて（インボイス制度関連）は学会 HP をご覧ください。

※令和 7 年度（第 1 回）臨時総会については 25 頁をご覧ください。

## 第 48 回日本分子生物学会年会 (MBSJ2025) 開催のお知らせ (その 4)

会 期：2025 年 12 月 3 日(水)～ 5 日(金)※現地開催のみ  
会 場：パシフィコ横浜  
年 会 長：小林 武彦 (東京大学定量生命科学研究所)  
後期-当日参加登録期間：2025 年 10 月 10 日(金)～ 12 月 5 日(金) 17:00

年会事務局連絡先：第 48 回日本分子生物学会年会事務局 (株エー・イー企画 内)  
〒 101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4 階  
Tel: 03-3230-2744 Fax: 03-3230-2479 E-mail: mbsj2025@aeplan.co.jp  
年会ホームページ：https://www.aeplan.jp/mbsj2025/  
X(旧 Twitter)アカウント：https://x.com/mbsj\_2025/

### 【年会長の挨拶 その 4】

いよいよ本番です。

もう一度今回のテーマについてお話しさせてください。対面で集える喜びを再確認し、研究仲間、自身の研究の理解者など知り合いの輪を広げて、「何かが変わる年会」にするのが目標です。

おかげさまで、参加者数、発表数、高校生発表数、企業展示などなど、過去最高のレベルになっております。ご協力くださりありがとうございます！

初日と 2 日目の晩に行われる新企画「このゆび、とーまれ」もすでに 400 名を超える参加登録をいただいております。

私はまあまあ社交的な性格で、友達も人並みにはおります。しかも分子生物学会には 30 年以上所属して年会にも毎年欠かさず参加してきました。しかし、12,000 名の分生会員の数%も存じ上げません。以前「DNA の 98% は謎」(ブルーバックス)という本を書きましたが、私にとって「分生会員のほぼ 98% くらいは謎」なのです。その謎をどれだけ解明できるかが、私の今回の個人的なテーマであり、年会のテーマでもあります。

今回の横浜大会のレガシーは新しい知り合いを増やすことです。その助けになればと分生応援ソングを胡桃坂研究室の協力を得て 2 曲作りました。すでに YouTube で視聴可能です。5 日(金)夜の市民公開講座では一緒に歌って踊って盛り上がりましょう！！

「愛しのサザン・ノーザン・ウエスタン」

<https://youtu.be/1votpeAfF6I?si=jYPKYKTu33DqmC-w>

「シャーレにならないシャララララ」

<https://youtu.be/FGxR94kPkjs?si=s7sSIQ4fwJqSSv1X>

では、12 月 3-5 日横浜でお会いするのを楽しみにしております。

第 48 回日本分子生物学会年会  
年会長 小林 武彦  
(東京大学定量生命科学研究所)

The big event is finally here.

Let me once again share the theme of this year's meeting. Our goal is to make this an "*Annual Meeting of Change*" — one where we rediscover the joy of gathering in person, expand our circle of research colleagues and supporters, and strengthen the bonds within our community.

Thanks to everyone's cooperation, we've reached record highs in the number of participants, presentations, high school student sessions, and corporate exhibits. We truly appreciate your support!

Our new evening event, "Let's gather here in Yokohama!", to be held on the first and second nights, has already received over 400 participant registrations.

I'd say I'm fairly sociable and have a reasonable number of friends. I've been a member of the Molecular Biology Society of Japan for over 30 years and have attended the annual meeting every year without fail. Yet, out of our roughly 12,000 members, I probably know less than a few percent.

I once wrote a book titled "*98% of DNA Is a Mystery*" (Bluebacks). For me, "*about 98% of the members of the MBSJ are also a mystery.*" How much of that mystery I can unravel—that is both my personal goal and the theme of this year's meeting.

The legacy of the Yokohama Meeting will be to increase new connections. To help with that, with the kind collaboration of the Kurumizaka Laboratory, we've created two MBSJ support songs, now available on YouTube.

Let's sing, dance, and have fun together during the public lecture session on Friday!

♪ "*Beloved Southern, Northern, and Western*"

<https://youtu.be/1votpeAff6I?si=jYPKYKTu33DqmC-w>

♪ "*Sha-la-la-la That Won't Fit in a Schare (Petri Dish)*"

<https://youtu.be/FGxR94kPkjs?si=s7sSIQ4fwJqSSv1X>

We look forward to seeing you all in Yokohama, December 3–5!

President of MBSJ2025

Takehiko Kobayashi

(Institute for Quantitative Biosciences, The University of Tokyo)

## 【プログラム】

シンポジウム

ポスター

フォーラム

マッチング（交流）イベント『このゆび、とーまれっ』

キャリアパス委員会企画

研究倫理委員会企画

通常総会

バイオテクノロジーセミナー

バイテクショートセミナー

出展者セミナー

高校生研究発表

市民公開講座

機器・試薬・書籍等附設展示会

### ◆マッチング（交流）イベント『このゆび、とーまれっ』

ポスター展示場内に特設スペースを設け、皆様から募集した企画ブースを展開いたします。

企画の詳細は年会サイトよりご確認ください。

日 時：2025 年 12 月 3 日(水)、4 日(木) 19：15～20：30

会 場：パシフィコ横浜 展示ホール

### ◆第 48 回日本分子生物学会年会 学会企画 /MBSJ Forum

・「著者からエディターへ：日本の科学を世界へ発信する橋渡しになろう」

日 時：2025 年 12 月 3 日(水) 19：15～20：30

会 場：パシフィコ横浜 会議センター 4 階 413（第 10 会場）

※会場では軽食をご用意いたします。（先着順 / 数に限りがありますこと、ご了承ください）

### ◆キャリアパス委員会企画

キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナー 2025

・「食いつばぐれない研究者としての人生」

日 時：2025 年 12 月 3 日(水) 12：50～14：05

会 場：パシフィコ横浜 会議センター 3 階 301（第 2 会場）

・「ところ変われば戦略変わる～キャリアパスの最前線～」

日 時：2025 年 12 月 5 日(金) 12：50～14：05

会 場：パシフィコ横浜 会議センター 3 階 301（第 2 会場）

### ◆AMED 共催：研究倫理委員会企画

研究倫理ランチョンセミナー

・「研究不正を考える—私たちが何をすべきか？」

日 時：2025 年 12 月 4 日(木) 12：50～14：05

会 場：パシフィコ横浜 会議センター 3 階 301（第 2 会場）

### ◆第 48 回通常総会

日 時：12 月 4 日(木) 19：15～20：15

会 場：パシフィコ横浜 会議センター 3 階 311+312（第 6 会場）

※会場では軽食をご用意いたします。（先着順 / 数に限りがありますこと、ご了承ください）

#### ◆高校生研究発表

ぜひ、未来の分子生物学を担う高校生の研究発表をご覧ください、激励の声をかけてください。

日 時：2025 年 12 月 5 日(金) 17：00～19：00

口頭発表：17：00～18：00      ポスター発表：18：00（口頭発表終了後）～19：00

会 場：パシフィコ横浜 展示ホール

#### ◆市民公開講座

・「未来の研究者集まれ！」

日 時：2025 年 12 月 5 日(金) 19：15～20：20

会 場：パシフィコ横浜 メインホール（第 1 会場）

### 【開催形式】

#### ◆現地開催のみ（12 月 3 日(水)～ 5 日(金)）

本年会は現地開催のみとなります。ライブ配信、オンデマンド配信はありません。

### 【AI 同時通訳サービス】

一部シンポジウムにて、スマートフォンなどで翻訳文をご覧いただける同時通訳サービスを導入予定です。機能、利便性をふくめ、試験的に導入を図るものですので、会場にてぜひお試しください。

### 【参加登録に関するご案内】

早期参加登録は 10 月 1 日(水)に締め切りました。以降の参加登録は下記要領にて受付いたします。

〈後期-当日参加登録〉

#### 1. オンライン登録

- ・ 受付期間：10 月 10 日(金)～12 月 5 日(金) 17：00
- ・ 受付方法：年会ホームページの「参加登録」ページよりお申し込みください。
- ・ 参加登録費決済方法：クレジットカード決済のみ

#### 2. 当日参加受付での登録

- ・ 受付期間：12 月 3 日(水) 8：00～17：00  
12 月 4 日(木) 8：00～17：00  
12 月 5 日(金) 8：00～15：00
- 場 所：パシフィコ横浜 2 階ロビー
- ・ 参加登録費決済方法：現金のみ

その他、参加手続きに関する詳細は、年会ホームページをご確認ください。

<https://www.aeplan.jp/mbsj2025/index.html>



#### ◆参加登録費

| 区分                     | 早期参加登録                                                | 後期-当日参加登録<br>※演題投稿不可 |
|------------------------|-------------------------------------------------------|----------------------|
| 登録受付期間                 | 7/1～10/1                                              | 10/10～12/5           |
| 正会員<br>(日本生物物理学会員を含む)  | 13,000 円                                              | 20,000 円             |
| 学生会員<br>(日本生物物理学会員を含む) | 3,000 円                                               | 4,000 円              |
| 学部学生<br>(会員・非会員問わず)    | 0 円<br>※一般演題投稿希望者は「学生会員」、もしくは「非会員（一般演題投稿あり）」での参加登録が必須 | 0 円                  |
| 非会員<br>(一般演題投稿なし)      | 22,000 円                                              | 30,000 円             |
| 非会員<br>(一般演題投稿あり)      | 30,000 円                                              |                      |

参加登録費の税区分：会員は不課税、非会員は税込  
年会参加費に飲食費は含まれません

※プログラム検索・要旨閲覧システムの代金はすべてのカテゴリーの年会参加費に含まれています。

※後期-当日参加登録の参加費支払い方法は、オンライン登録でのクレジット決済、もしくは当日参加受付での現金による支払のみとなります。銀行振込は選択できませんので、ご注意ください。

※シニア会員と次世代教育会員につきましても、参加登録システムからのお申し込みをお願い申し上げます。

#### 【プログラム検索・要旨閲覧サイト】

プログラム検索・要旨閲覧サイト（先行オンライン開催の視聴サイトを含む）は、年会ホームページよりご確認ください。

要旨 PDF 閲覧には、参加登録者に発行されるパスワードの入力が必要となります。

オンライン参加登録者にはメールでのご連絡のほか、参加章 PDF にも印字されますのでそちらをご確認ください。

当日会場受付にて参加登録をされた方には、受付にて要旨へのアクセス方法をお伝えいたします。

#### 【参加章（ネームカード）・ポケットプログラム郵送廃止のお知らせ】

従来、10 月初旬までに早期参加登録された方を対象に、参加章・ポケットプログラム（会場マップや日程表などを掲載した簡易的な冊子）等を郵送していましたが、昨年に続き本年も実施いたしません。

#### ◆参加章

オンライン参加登録システム Confit より、参加章の PDF がダウンロードいただけます。なるべく会期前に参加登録手続きを済ませ、参加章 PDF を印刷してご持参ください。ネームホルダーは会場にて配布いたします。

※会場受付にて無記名の参加章お渡しも可能ですが、混雑が予想されますので、事前の印刷をお願いいたします。

※会場の当日参加受付での登録をされる場合、参加章は受付にてお渡しいたします。

#### ◆ポケットプログラム

当日会場にて配布いたします。事前の郵送はいたしませんので、ご了承ください。

# 【全体日程表】

|          | 8                                             | 9 | 10                                | 11 | 12 | 13                                  | 14                                                                                    | 15 | 16                                 | 17                                                                                          | 18 | 19                                   | 20                                                          | 21 |  |  |
|----------|-----------------------------------------------|---|-----------------------------------|----|----|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----|--|--|
| 12月3日(水) |                                               |   |                                   |    |    |                                     |                                                                                       |    |                                    |                                                                                             |    |                                      |                                                             |    |  |  |
|          |                                               |   | シンポジウム<br>(120 min)<br>9:00-11:00 |    |    | ミニシンポジウム<br>(80 min)<br>11:15-12:35 | バイテクセミナー<br>(50 min)<br>13:00-13:50<br><br>キャリアパス委員会<br>企画<br>(75 min)<br>12:50-14:05 |    | シンポジウム<br>(120 min)<br>14:20-16:20 |                                                                                             |    |                                      | フォーラム<br>(75 min)<br>19:15-20:30                            |    |  |  |
|          | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付                    |   |                                   |    |    |                                     |                                                                                       |    | 展<br>示<br>会<br>見<br>学              | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>発<br>表・討<br>論<br>(120 min)<br>17:00-19:00                               |    | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>撤<br>去 | マ<br>ッ<br>チ<br>ン<br>グ<br>企<br>画<br>(75 min)<br>19:15-20:30  |    |  |  |
|          | 機<br>器・試<br>薬・書<br>籍<br>展<br>示<br>11:00-19:00 |   |                                   |    |    |                                     |                                                                                       |    |                                    |                                                                                             |    |                                      |                                                             |    |  |  |
| 12月4日(木) |                                               |   |                                   |    |    |                                     |                                                                                       |    |                                    |                                                                                             |    |                                      |                                                             |    |  |  |
|          |                                               |   | シンポジウム<br>(120 min)<br>9:00-11:00 |    |    | ミニシンポジウム<br>(80 min)<br>11:15-12:35 | バイテクセミナー<br>(50 min)<br>13:00-13:50<br><br>研究倫理委員会<br>企画<br>(75 min)<br>12:50-14:05   |    | シンポジウム<br>(120 min)<br>14:20-16:20 |                                                                                             |    |                                      | フォーラム<br>(75 min)<br>19:15-20:30<br><br>通常総会<br>19:15-20:15 |    |  |  |
|          | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付                    |   |                                   |    |    |                                     |                                                                                       |    | 展<br>示<br>会<br>見<br>学              | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>発<br>表・討<br>論<br>(120 min)<br>17:00-19:00                               |    | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>撤<br>去 | マ<br>ッ<br>チ<br>ン<br>グ<br>企<br>画<br>(75 min)<br>19:15-20:30  |    |  |  |
|          | 機<br>器・試<br>薬・書<br>籍<br>展<br>示<br>11:00-19:00 |   |                                   |    |    |                                     |                                                                                       |    |                                    |                                                                                             |    |                                      |                                                             |    |  |  |
| 12月5日(金) |                                               |   |                                   |    |    |                                     |                                                                                       |    |                                    |                                                                                             |    |                                      |                                                             |    |  |  |
|          |                                               |   | シンポジウム<br>(120 min)<br>9:00-11:00 |    |    | ミニシンポジウム<br>(80 min)<br>11:15-12:35 | バイテクセミナー<br>(50 min)<br>13:00-13:50<br><br>キャリアパス委員会<br>企画<br>(75 min)<br>12:50-14:05 |    | シンポジウム<br>(120 min)<br>14:20-16:20 |                                                                                             |    |                                      | 市民公開講座<br>(75 min)<br>19:15-20:30                           |    |  |  |
|          | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付                    |   |                                   |    |    |                                     |                                                                                       |    | 展<br>示<br>会<br>見<br>学              | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>発<br>表・討<br>論<br>(120 min)<br>17:00-19:00<br><br>高校生研究発表<br>17:00-19:00 |    | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>撤<br>去 |                                                             |    |  |  |
|          | 機<br>器・試<br>薬・書<br>籍<br>展<br>示<br>11:00-19:00 |   |                                   |    |    |                                     |                                                                                       |    |                                    |                                                                                             |    |                                      |                                                             |    |  |  |

---

## キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナー 2025

「食いつばぐれない研究者としての人生」

日 時：2025 年 12 月 3 日(水) 12：50～14：05（年会初日）  
会 場：パシフィコ横浜 会議センター 3 階 301（第 2 会場）  
司 会：末次 正幸（立教大学理学部）

### ●聴衆参加型ディスカッション with キャリアパス委員

末次 正幸（座長／立教大）、甲斐 歳恵（京大／阪大）、鐘巻 将人（遺伝研）、佐田亜衣子（九大）、  
平谷伊智朗（理研）、胡桃坂仁志（委員長／東大）

「若者たちよ、研究者になろう！」この企画は、その道を選ぶ若者を応援するためのものです。でも研究者ってポジション少なそうだし、優秀そうな人たちが沢山いる中でリスク高すぎない？ キャリアの選択肢としてとても安定しているように見えない…。要は「食いつばぐれたくない」。そういった不安を抱える学生や若手研究者と、かつて同じ不安を抱えていたキャリアパス委員がパネル形式で議論を行います。研究を職とする人々がどのようなスキルを身につけ、どのような戦略やリスク管理を行ってきたのか、具体的な事例を通じて探っていきます。これにより、若い世代が「研究者という人生」にチャレンジする勇氣を持てるようになることを目指します。事前アンケートや双方向対話形式で進みますので、ぜひ皆さんの疑問や意見をぶつけてみてください。

「ところ変われば戦略変わる～キャリアパスの最前線～」

日 時：2025 年 12 月 5 日(金) 12：50～14：05（年会 3 日目）  
会 場：パシフィコ横浜 会議センター 3 階 301（第 2 会場）  
司 会：黒岩 麻里（北海道大学大学院理学研究院）

### ●聴衆参加型ディスカッション with キャリアパス委員

黒岩 麻里（座長／北大）、香月 康宏（鳥取大）、篠原 美紀（近大）、藤 泰子（科学大）、  
三浦 恭子（九大・医）、三嶋雄一郎（京産大）、胡桃坂仁志（委員長／東大）

「経済的な理由で博士課程進学を断念せざるを得ない…」本当にそうでしょうか？ 時代は変わりつつあります！研究者のキャリア形成には、その身をおく研究環境が大きな影響を与えます。博士課程での研究環境もしかり。特に、経済的な不安を抱えることなく研究に専念できるサポート体制は、多くの大学で充実してきていますが、その内容は多岐にわたり、あまり広く知られていない状況です。そこで本企画では、日本各地の国立大学・私立大学・研究所に所属するキャリアパス委員が登壇し、多様なキャリア選択の実例や、各所属機関のサポート制度について紹介します。さらに、パネルディスカッション形式で、みなさんの疑問や不安に直接お答えします。事前アンケートや双方向対話を通じて、あなたの声に耳を傾けながら進みますので、ぜひ積極的にご参加ください！

※両日とも、参加者の皆様にご自身のスマートフォン・タブレット端末等から専用サイトへアクセスしていただき、ご意見などを会場のスクリーンでリアルタイム表示する「オーディエンスインタラクションツール（Slido）」を導入します。

---

## AMED 共催：研究倫理委員会企画・研究倫理ランチョンセミナー

「研究不正を考える—私たちが何をすべきか？」

日 時：2025 年 12 月 4 日(木) 12：50～14：05（年会 2 日目）

会 場：パシフィコ横浜 会議センター 3 階 301（第 2 会場）

研究の公正性を守ることは、科学の信頼性を支える基盤です。しかし、一度不正が起きますと、その調査には多くの人の時間と労力が必要となり、関わった研究者の今後の活動や人生にも大きな影響を及ぼします。それにもかかわらず、不正は後を絶ちません。今回のセミナーでは、研究現場で何が起きているのかを検証し、未然防止に向けて私たちが取るべき行動を議論します。

講演 1 では、AMED から、これまでに報告された研究不正の事例やその背景を紹介します。不正はなぜ起きるのか、どのように防ぐことができるのかを一緒に考えます。講演 2 では、最近特に問題となっている「画像データの扱い方」を取り上げます。AMED 発行の解説冊子に基づき、主要論文誌の投稿規定や、画像データを取り扱うときの考え方、具体的な処理について解説します。

最後に、研究倫理委員会の委員や講演者を交えてディスカッションを行い、研究の信頼性を守るために私たちができることを共に考える場とします。

### ●講演 1 「AMED 事業における不正行為の事案と措置」

松室 寛治（国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)）

### ●講演 2 「適正な画像処理方法」

塚田 祐基（慶應義塾大学理工学部生命情報学科）

### ●研究倫理委員パネルディスカッション

石黒啓一郎（司会）、糸 昭苑（委員長）、原 英二、東山 哲也、山本 卓（以上委員）、  
松室 寛治、塚田 祐基



1F-10 (Dec. 3, 19:15-20:30)

第10会場 (パシフィコ横浜 会議センター4階 413)

Room 10 (Pacifico Yokohama Conference Center, 4F, 413)

**第48回日本分子生物学会年会 学会企画/MBSJ Forum**

**著者からエディターへ：日本の科学を世界へ発信する橋渡しになろう**

**From Author to Editor: Bridging Japanese Science to the World**

オーガナイザー：岡田 由紀（東京大学）、斉藤 典子（公益財団法人がん研究会がん研究所）

Organizer: Dr. Yuki Okada (Univ. Tokyo/Genes to Cells), Dr. Noriko Saitoh (JFCR/FASEB J)

日本人研究者の多くは「著者」として学術誌に関わっていますが、国際誌の「エディター」としての関与は極めて少なく、日本のサイエンスの国際的可視性が高まらない一因ともなっています。一方、中国などではエディターの積極的な登用や出版戦略が進んでおり、国際発信力の差は拡大しています。本企画では、国際的に著名な学術誌のエディターを招き、日本人研究者、特に若手層に対し、エディターというキャリアパスを紹介します。サイエンスの送り手としての新たな役割に目を向け、日本からの情報発信の強化に繋がることを期待します。

※本フォーラムは英語での講演を含め、日本語/英語混交での開催を予定しています。

Japanese scientific researchers mostly contribute to academic journals as authors, while their involvement as editors for international journals is extremely limited. This is one factor hindering the increased international visibility of Japanese science. Meanwhile, countries like China are actively recruiting editors and advancing publishing strategies, widening the gap in international outreach capabilities.

This forum invites editors from internationally renowned academic journals to introduce the career path of an editor to Japanese researchers, particularly young scientists. We hope this will encourage participants to consider this new role as science editors and contribute to strengthening Japan's information dissemination.

*\*This forum will be conducted in a mix of Japanese and English, including lectures in English.*

**Lecturer and Panelist**

Dr. Zeljko Durdevic (Senior Editor of EMBO Molecular Medicine)

Dr. Yuan Hu (Cell Systems)

Dr. Tadashi Uemura (Kyoto Univ./Chief Editor of Genes to Cells)

Dr. Spyros Goulas (Kyoto Univ./formerly Dev. Cell)

Dr. Tatsuo Fukagawa (Univ. Osaka/MBoC)

Dr. Adrian Moore (RIKEN)

**Timetable**

Lecture 1: Dr. Hu (15 min)

Lecture 2: Dr. Goulas (10 min)

Lecture 3: Dr. Uemura (10 min)

Preparation of panel discussion (3 min)

Panel discussion (30 min) (Chair: Saitoh, Okada)

## Genes to Cells 編集委員一覧

今日、生命科学を含む実験科学は激動の時代に入っています。これらの変動に今まで以上に柔軟に対応し、さらに多くの優れた論文を出版するために、一部の編集委員の入れ替えを実施いたしました。

(敬称略・五十音順・アルファベット順、☆は2025年10月1日より新たに就任、名誉：名誉教授)

Editor-in-Chief 上村 匡 (京大)

Editors 荒木 弘之 (ROIS-DS／遺伝研) 長田 重一 (阪大) 西田 栄介 (理研)

花岡 文雄 (阪大・名誉) Anne Ephrussi (European Molecular Biology Laboratory Heidelberg)

### Associate Editors

|                                                                               |                                                          |                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 饗場 弘二 (名大・名誉)                                                                 | 飯野 雄一 (東大)                                               | 井垣 達吏 (京大)                            |
| 石川 俊平 (東大)                                                                    | 石川 冬木 (京大)                                               | ☆石黒啓一郎 (千葉大)                          |
| 石谷 太 (阪大)                                                                     | ☆井関 祥子 (科学大)                                             | 一條 秀憲 (科学大)                           |
| 伊藤 寿朗 (奈良先端大)                                                                 | ☆稲田 利文 (東大)                                              | ☆岩崎 由香 (理研)                           |
| 上田 泰己 (東大)                                                                    | 大隅 典子 (東北大)                                              | 岡田 由紀 (東大)                            |
| 岡野 栄之 (慶應大)                                                                   | 小布施力史 (阪大)                                               | 貝淵 弘三 (藤田医大)                          |
| 影山龍一郎 (理研)                                                                    | ☆鐘巻 将人 (遺伝研)                                             | 北島 智也 (理研)                            |
| 北野 潤 (遺伝研)                                                                    | 木村 宏 (科学大)                                               | ☆糸 昭苑 (科学大)                           |
| 倉永英里奈 (京大／東北大)                                                                | 胡桃坂仁志 (東大)                                               | 五島 剛太 (名大)                            |
| 後藤由季子 (東大)                                                                    | 小林 武彦 (東大)                                               | 小原 雄治 (遺伝研／DBCLS)                     |
| 小室 一成 (東大)                                                                    | 小安 重夫 (量研)                                               | 近藤 滋 (遺伝研)                            |
| 近藤 寿人 (JT生命誌館)                                                                | 斉藤 典子 (がん研)                                              | ☆佐田亜衣子 (九大)                           |
| 佐谷 秀行 (藤田医大)                                                                  | 塩見 春彦 (千葉大)                                              | 塩見美喜子 (東大)                            |
| 篠原 彰 (阪大)                                                                     | 白髭 克彦 (東大)                                               | 杉本亜砂子 (東北大)                           |
| 杉本 慶子 (理研)                                                                    | 田賀 哲也 (科学大・名誉)                                           | 高井 義美 (神戸大)                           |
| ☆手良向 聡 (京都府立医大)                                                               | 登田 隆 (広島大)                                               | ☆中川 真一 (北大)                           |
| 永田 和宏 (JT生命誌館)                                                                | 永田 恭介 (筑波大)                                              | 中野 明彦 (理研)                            |
| 中別府雄作 (JSPS SF)                                                               | 中村 輝 (熊本大)                                               | 中村 義一 (東大)                            |
| 中山 敬一 (科学大)                                                                   | ☆中山 潤一 (基生研)                                             | 鍋島 陽一 (京大)                            |
| ☆二階堂 愛 (理研／科学大)                                                               | 仁科 博史 (科学大)                                              | 丹羽 隆介 (筑波大)                           |
| 濡木 理 (東大)                                                                     | 箱嶋 敏雄 (奈良先端大・名誉)                                         | 濱田 博司 (NCBS/Ashoka Univ)              |
| ☆林 克彦 (阪大)                                                                    | 林 茂生 (理研)                                                | ☆原 英二 (阪大)                            |
| 原田 慶恵 (阪大)                                                                    | ☆東山 哲也 (東大)                                              | 平岡 泰 (阪大)                             |
| 深川 竜郎 (阪大)                                                                    | 藤田 恭之 (京大)                                               | 本間 道夫 (名大)                            |
| 正井 久雄 (都医学研)                                                                  | 町田 泰則 (名大)                                               | 松崎 文雄 (京大)                            |
| 松本 邦弘 (名大)                                                                    | ☆三浦 恭子 (九大)                                              | 三浦 正幸 (基生研)                           |
| 水島 昇 (東大)                                                                     | 宮脇 敦史 (理研)                                               | 森 郁恵 (名大)                             |
| 森 和俊 (京大)                                                                     | 森田 (寺尾) 美代 (基生研)                                         | 山口 雄輝 (科学大)                           |
| 山崎 晶 (阪大)                                                                     | ☆山下由起子 (Whitehead Institute/MIT/HHMI)                    |                                       |
| 山本 雅 (OIST)                                                                   | 山本 雅之 (東北大)                                              | 米田 悦啓 (阪大微生物病研)                       |
| Konrad Basler (Univ of Zurich)                                                | Douglas Bishop (Univ of Chicago)                         |                                       |
| Xing-Wang Deng (Peking Univ)                                                  | Denis Duboule (Ecole Polytechnique Fédérale de Lausanne) |                                       |
| Stephen J. Elledge (HHMI/Brigham and Women's Hospital/Harvard Medical School) |                                                          |                                       |
| Scott Keeney (Sloan-Kettering Inst)                                           | Tsai-Kun Li (National Taiwan Univ)                       |                                       |
| Andreas Strasser (WEHI)                                                       | Patrick Sung (Yale Univ)                                 | Junying Yuan (Harvard Medical School) |

Genes to Cells 編集長 上村 匡  
office@genestocells.jp

## 第49回日本分子生物学会年会・第99回日本生化学会大会 合同大会(BMB2026) 開催のお知らせ(その1)

会 期：2026 年 12 月 1 日(火)～4 日(金) ※現地開催（一部、オンデマンド配信あり）  
会 場：パシフィコ横浜  
大 会 長：第 49 回日本分子生物学会年会 年会長 水島 昇（東京大学大学院医学系研究科）  
第 99 回日本生化学会大会 会 頭 胡桃坂仁志（東京大学定量生命科学研究所）  
演 題 登 録 期 間：2026 年 6 月 15 日(月)～7 月 14 日(火) ※予定  
早期参加登録期間：2026 年 6 月 15 日(月)～9 月 30 日(水) ※予定  
大会事務局連絡先：BMB2026 運営事務局（株）エー・イー企画 内）  
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4 階  
Tel: 03-3230-2744 Fax: 03-3230-2479 E-mail: bmb2026@aeplan.co.jp  
大会ホームページ：<https://www.aeplan.jp/bmb2026>（近日中に公開予定）

### 【大会長の挨拶 その1】

2026 年の第 49 回日本分子生物学会年会および第 99 回日本生化学会大会は、合同大会 BMB2026 として、2026 年 12 月 1 日～4 日の期間、パシフィコ横浜にて開催いたします。

分子生物学会と生化学会の合同大会は、BMB2015、ConBio2017 に続く開催となります。両学会は長い歴史をもち、それぞれの視点から日本の生命科学研究を牽引してきました。普段は独立して活動する両学会が、合同という形で一堂に会する機会には、単なる効率の追求を超えた、新しい発見と創造の場としての価値があると私たちは考えています。

BMB2026 では、両学会の特色を活かしつつ、各学会の枠を越えた大会として、「共鳴」をテーマにします。幅広い分野の研究者が共鳴し、刺激を受け合えるような構成を目指しています。公募シンポジウムや一般演題（ポスター・サイエンスピッチ・口頭発表）はもちろん、スター研究者による「スペシャルシンポジウム」、大会企画シンポジウムなど、充実したプログラムを用意しています。今回は、日本生物物理学会とも連携します。さらに、社会との接点を意識した公開講座や、若手研究者のキャリア支援を目的とした企画など、多様な試みも計画中です。

日々の研究に没頭する中で、自らの視野を広げ、研究の意義や未来を見つめ直す機会として、BMB2026 は特別な意味を持つと私たちは信じています。「ここに来れば、何かに出会える」—そんなワクワクする空間を、皆さんと共に創り上げていきたいと思っています。

BMB2026 に対するご意見やご提案も、ぜひお寄せください。最新情報は、随時、公式ウェブサイトや SNS 等を通じてお知らせしてまいります。

多くの皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

2025 年 11 月

第 49 回日本分子生物学会年会 年会長 水島 昇（東京大学大学院医学系研究科）  
第 99 回日本生化学会大会 会 頭 胡桃坂 仁志（東京大学定量生命科学研究所）

The 49th Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan and the 99th Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society will be held jointly as BMB2026 from December 1 to 4, 2026, at PACIFICO Yokohama.

This joint meeting between the two societies follows BMB2015 and ConBio2017. Both societies have a long and distinguished history, each leading the life science field in Japan from their respective perspectives. We believe that the opportunity for these two societies to come together offers a unique platform for new discoveries and creativity.

For BMB2026, we aim to preserve the distinct identities of both societies while transcending their boundaries under the unifying theme of “Resonance.” We envision a conference where researchers from diverse fields can resonate with and inspire one another. In addition to regular symposia, poster presentation, science-pitch, and oral sessions, the program will feature the BMB2026 Special Symposium by distinguished scientists as well as three thematic BMB2026 Symposia.

This time, we will also collaborate with the Biophysical Society of Japan, and we are planning a range of new initiatives, such as public lectures that promote engagement with society and programs that support the careers of young researchers.

We believe BMB2026 will provide a valuable opportunity to broaden perspectives and reflect on the significance and future of your research. We hope to create an exciting space where participants can say, “There’s something new to discover here.”

We welcome your feedback and suggestions for BMB2026. Updates and information will be provided regularly through the official website and social media.

We sincerely look forward to welcoming many of you to BMB2026.

November 2025

President, The 49th Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan:

Noboru Mizushima (The University of Tokyo)

President, The 99th Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society:

Hitoshi Kurumizaka (The University of Tokyo)

## 【大会組織】

### < 大会長 >

第 49 回日本分子生物学会年会 年会長 水島 昇（東京大学大学院医学系研究科）

第 99 回日本生化学会大会 会 頭 胡桃坂仁志（東京大学定量生命科学研究科）

### < プログラム幹事 >

プログラム委員長 後藤由季子（東京大学大学院薬学系研究科）

プログラム副委員長 東山 哲也（東京大学大学院理学系研究科）

プログラム副委員長 東原 和成（東京大学大学院農学生命科学研究科）



## 【プログラム概要】

### ◆現地開催（12月1日(火)～12月4日(金)）

スペシャルシンポジウム1企画、大会企画シンポジウム3企画、公募シンポジウム約200企画、フォーラム、一般口頭発表、ポスター発表、サイエンスピッチ（ショートトーク）、高校生発表、市民公開講座

開催形式：本大会は現地開催のみとなります。

※一部シンポジウムのみオンデマンド配信を予定しております。

### ◆スペシャルシンポジウム「BMB2026 Special Symposium」

スペシャルシンポジウムは、世界をリードするさまざまな分野のスピーカーをお招きし、それぞれの専門領域における最前線の研究成果や展望をお話いただく特別企画です。

開催日時：2026年12月3日(木) 9:00-12:20（予定）

オーガナイザー：水島 昇（東京大学）、胡桃坂 仁志（東京大学）、  
後藤 由季子（東京大学）、東原 和成（東京大学）

演 者：山下 由起子（Whitehead Institute/MIT/HHMI）、柳沢 正史（筑波大学）、  
Feng Zhang（The Broad Institute）、David Julius（University of California）

### ◆大会企画シンポジウム「BMB2026 Symposium」（3企画予定）

大会企画シンポジウムは、以下3企画の開催を予定しております。

#### 1. 巧みな分子マシンが拓く生命科学の新フロンティア / Ingenious Molecular Machines: Expanding Frontiers in the Life Sciences

開催日時：2026年12月1日(火) 9:00-11:00（予定）

オーガナイザー：胡桃坂 仁志（東京大学）

演 者：胡桃坂 仁志（東京大学）、沈 建仁（岡山大学）、  
岡田 康志（理化学研究所）、山下 敦子（大阪大学）

In this symposium, we will explore groundbreaking research on molecular machines that operate at the nanoscale to orchestrate life. Presentations will delve into the functional regulation of motor-driven intracellular transport, photosynthesis, sensory receptors, and protein complexes on chromatin. These innovative studies offer remarkable insights into the intricate machinery of life at the molecular level.

#### 2. 命の始まりから終わりまで～細胞運命の制御～ / The Journey of Life: Regulation of Cellular Fate from Beginning to End

開催日時：2026年12月2日(水) 9:00-11:00（予定）

オーガナイザー：後藤 由季子（東京大学）

演 者：西村 栄美（東京大学）、林 克彦（大阪大学）、  
Kenneth Zaret（University of Pennsylvania）、杉本 慶子（理化学研究所）

Understanding how cells acquire, maintain, and eventually lose their identity is fundamental to decoding the entire arc of life—from its inception to aging. In some contexts, cells also exhibit remarkable regenerative potential, allowing tissues to repair or renew themselves. This symposium brings together leading researchers who explore cell fate regulation across different biological systems, life stages, and regenerative processes, using a wide range of approaches.

#### 3. 基礎研究から疾患制御に向けて / From Basic Research to Disease Control

開催日時：2026年12月4日(金) 9:00-11:00（予定）

オーガナイザー：水島 昇（東京大学）

演 者：中山 敬一（東京科学大学）、本田 賢也（慶應義塾大学）  
柚崎 通介（慶應義塾大学）、柳田 素子（京都大学）

Recent advances in basic research are rapidly narrowing the gap between fundamental science and clinical application.

Increasingly, the development of effective therapeutic strategies depends on a deep understanding of core biological processes. In this symposium, leading researchers from diverse fields will present groundbreaking approaches that connect fundamental discoveries with translational impact.

◆公募シンポジウム（約 200 企画予定）

現地開催にて公募シンポジウムを開催します。

会員より企画を公募しますので、後述の募集要項をご参照の上、奮ってご応募ください。

◆一般演題（ポスター・一般口頭発表・サイエンスピッチ）

|                                         |
|-----------------------------------------|
| 演題登録受付期間：2026 年 6 月 15 日(月)～7 月 14 日(火) |
|-----------------------------------------|

※登録受付期間にご注意ください。

採択された全ての一般演題は、ポスター発表を行っていただきます。

また、一般口頭発表・サイエンスピッチへの採択希望を募り、審査のうえ採択された演題については口頭での発表も行っていただきます。演題申込みに関する詳細は、次回会報および決定次第合同大会ホームページにてお知らせいたします。

◆高校生発表

最終日午後（12 月 4 日(金)）に、高校生による研究発表を予定しています。

◆ランチョンセミナー

企業との共催によるランチョンセミナーを開催いたします。

◆その他の企画

海外学会コラボ企画、両学会共同企画などの開催を予定しています。詳細は決定次第、合同大会ホームページにてご案内いたします。

その他の企画は詳細が決まり次第、合同大会ホームページにてご案内いたします。

## 【公募シンポジウムの企画公募について（2026 年 1 月 30 日(金)受付締切）】

本大会では、公募シンポジウムの企画を会員の皆さまより公募いたします。ご提出いただいた企画案は、プログラム委員会において厳正なる審査を行い、採否を決定します。採否結果は 3 月下旬 に応募者へご連絡いたします。下記要項をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

◆募集要項

◆募集枠

- 約 200 テーマを予定しております。
  - ※ 120 分枠のシンポジウムと 90 分枠（昼／夕・夜）のミニシンポジウムがあります。
  - ※ ご希望の枠と異なる枠での開催をご依頼する場合がございます。
- 各時間枠については下記コンセプトにそった企画を募集いたします。

【募集企画コンセプト】

120 分枠：異なる分野の研究者にとっても有益となる、広がりのある企画を期待します。

大きな視点の生物学を議論し、参加者が新たな研究の方向性を模索することを目的とします。

90 分枠（昼）：特定のトピックを掘り下げた企画を期待します。最新の研究成果や課題を共有し、参加者がその分野に対する理解を深めることを目的とします。

90 分枠（夕・夜）：新しい概念の企画を期待します。新しい視点や技術に基づく、新分野の創出や革新的な概念の提案を目的とします。

#### ◆講演言語

- 講演言語はオーガナイザーに一任いたしますが、セッション単位で英語または日本語のみに統一をお願いいたします。
- 発表スライドは講演言語にかかわらず、全演者に英語での作成をお願いいたします。専門用語などについては、スライドや口頭で補助的に日本語を使用することを推奨いたします。

#### ◆演者と演題

- 企画提案いただくオーガナイザーは1名でも2名でも構いませんが、分子生物学会または生化学会の会員であることが必須です。
- オーガナイザーの地域等の多様性を企画選考の際に考慮いたします。
- 演者のうち75%を超えて特定のジェンダーとしないよう、構成をお願いいたします。
- 本大会では一人一演題の登録を原則とし、複数演題発表は認められません。
- 本大会のシンポジウムは一般応募演題からの採択は実施いたしません。オーガナイザー指定の演者のみでの構成となります。
- 企画応募時点で演者のご内諾をいただきますようお願いいたします。120分枠で応募された場合も、採択時に90分枠へ変更となる可能性があるため、内諾は、90分枠となった場合にも登壇を予定している演者に限ってお取りください。なお、企画採択後に演者を追加されることは問題ございません。
- オンデマンド配信のための収録を実施いたします。オンデマンド配信の可否については、演題投稿時点等にて事務局より確認し、辞退された演題については配信いたしません。

#### ◆参加費、旅費の支援等

- 海外、国内を問わず、非会員演者の参加費は免除といたします。
- 分子生物学会、生化学会および生物物理学会の会員である演者には、各自にて参加登録と大会参加費のお支払いをお願いいたします。
- 会員・非会員を問わず、国内演者の旅費・滞在費・宿泊費の支給はありません。
- 海外演者をオンサイトで招聘する場合には、大会から旅費（1名：1企画につき最大15万円、2名以上：1企画につき最大30万円）・宿泊（大会指定のホテルでの最大3泊分、最大3名分まで）を支給いたします（国内演者への旅費・滞在費・宿泊費の支給はありません）。  
※海外演者の招聘人数、地域等により考慮し、大会の予算状況により支給額を決定いたします。

#### ◆学術変革領域、CREST、さきがけ等との 共催セッション

学術変革領域、CREST、さきがけ等の「冠」企画の実施も可能とします。

- 講演枠：120分・90分枠で実施予定
- 演者選定：班会議と同様の企画にならないよう、領域外の演者を必ず含めてください。
- 協賛金：会場費や広告費等として25万円（税込）の協賛金の負担をお願いいたします。  
（ホームページやプログラム集に冠表記を記載いたします。※時間枠による金額の変更はございません。）

#### ◆シンポジウム協賛プレゼンテーション

シンポジウムの開始前又は終了後に協賛企業による3分間のプレゼンテーションを行うことが可能です。シンポジウム協賛プレゼンテーションの大会協賛費（198,000円（税込））は、企業にお支払いいただきますが、オーガナイザーご自身が協賛企業を獲得された場合は、10万円をシンポジウム企画旅費補助として支給いたします。協賛獲得にぜひご協力ください。

#### ◆応募要領

大会ホームページより専用の応募サイトにアクセスし、2026 年 1 月 30 日(金)までに下記の必要情報をご登録ください。

- 1) 開催言語（日本語 or 英語・オーガナイザーが選択）
- 2) タイトル（和文・英文 必須）
- 3) オーガナイザーの氏名・所属（和文・英文）・年代・職位・性別・会員種別
- 4) 概要（和文・英文／和文全角 200 文字程度・英文半角 400 文字程度）
- 5) 予定演者の氏名・所属・職位（および、知りうる限りで、年代、性別）・会員種別・内諾の有無
- 6) 連絡窓口となるオーガナイザーの氏名、連絡先
- 7) 該当する分野とキーワード
- 8) 予想される聴衆数
- 9) 冠の有無、団体名
- 10) 希望開催枠（120 分または 90 分（昼）または 90 分（夕・夜））

※ 120 分枠をご希望の場合には異なる分野へのアピールとなる理由を記入していただきます。

※企画の採否ならびに開催枠の割振りはプログラム委員会で最終決定いたしますので、希望に沿えない可能性もございますこと、ご了承ください。

#### ◆お問合せ先

BMB2026（第 49 回日本分子生物学会年会・第 99 回日本生化学会大会 合同大会）事務局  
（株）エー・イー企画 内）

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4 階

Tel: 03-3230-2744    Fax: 03-3230-2479    E-mail: bmb2026@aeplan.co.jp

## BMB2026 カテゴリ分類表 Categories & Topics

|       |                    |                          |                                                |                                                                                |
|-------|--------------------|--------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 〔小項目〕 | 〔大項目1〕 糖質生物学・脂質生物学 |                          | 〔Category 1〕 Glycobiology and Lipid Biology    |                                                                                |
|       | a                  | 糖タンパク質、プロテオグリカン          | a                                              | Glycoproteins and proteoglycans                                                |
|       | b                  | レクチン                     | b                                              | Lectins                                                                        |
|       | c                  | 糖鎖関連酵素                   | c                                              | Carbohydrate-related enzymes                                                   |
|       | d                  | グライコミクス、グライコインフォマティクス    | d                                              | Glycomics and glycoinformatics                                                 |
|       | e                  | 糖脂質                      | e                                              | Glycolipids                                                                    |
|       | f                  | リン脂質                     | f                                              | Phospholipids                                                                  |
|       | g                  | 生理活性脂質                   | g                                              | Bioactive lipids                                                               |
|       | h                  | ステロール、ステロイド、リポタンパク質      | h                                              | Sterols, steroids, and lipoproteins                                            |
|       | i                  | リピドミクス                   | i                                              | Lipidomics                                                                     |
|       | j                  | 脂肪酸、グリセリド・中性脂質           | j                                              | Fatty acids, glycerides, and neutral lipids                                    |
|       | k                  | その他                      | k                                              | Others                                                                         |
|       | 〔大項目2〕 タンパク質       |                          | 〔Category 2〕 Proteins                          |                                                                                |
|       | a                  | 構造生物学                    | a                                              | Structural biology                                                             |
|       | b                  | フォールディング、品質管理            | b                                              | Protein folding and quality control                                            |
|       | c                  | 天然変性領域、液液相分離             | c                                              | Intrinsically disordered regions (IDRs), liquid-liquid phase separation (LLPS) |
|       | d                  | タンパク質合成、設計、修飾            | d                                              | Protein synthesis, design, and modification                                    |
|       | e                  | 質量分析、プロテオミクス             | e                                              | Mass spectrometry and proteomics                                               |
|       | f                  | その他                      | f                                              | Others                                                                         |
|       | 〔大項目3〕 酵素・生体エネルギー  |                          | 〔Category 3〕 Enzymes and Bioenergetics         |                                                                                |
|       | a                  | 酵素の反応機構、調節、阻害            | a                                              | Catalytic mechanism, regulation, and inhibition of enzymes                     |
|       | b                  | 酸化還元酵素、金属酵素、ヘム酵素         | b                                              | Oxidoreductases, metalloenzymes, and heme enzymes                              |
|       | c                  | 酵素一般                     | c                                              | General enzymes                                                                |
|       | d                  | 補酵素、ビタミン、ミネラル            | d                                              | Coenzymes, vitamins, and minerals                                              |
|       | e                  | 生体エネルギー変換、電子伝達系          | e                                              | Bioenergetics and electron transport chain                                     |
|       | f                  | その他                      | f                                              | Others                                                                         |
|       | 〔大項目4〕 細胞の構造と機能    |                          | 〔Category 4〕 Cellular Structures and Functions |                                                                                |
|       | a                  | 生体膜、膜透過、膜内脂質移動           | a                                              | Cellular membranes, membrane transport, and lipid translocation                |
|       | b                  | 細胞小器官の構造と機能              | b                                              | Structures and functions of organelles                                         |
|       | c                  | 細胞内物流システム                | c                                              | Intracellular trafficking system                                               |
|       | d                  | 細胞内分解                    | d                                              | Intracellular degradation                                                      |
|       | e                  | 細胞骨格、細胞運動、細胞接着、細胞外マトリックス | e                                              | Cytoskeleton, cell motility and adhesion, and extracellular matrix             |
|       | f                  | 細胞周期、細胞分裂、細胞極性           | f                                              | Cell cycle, cell division, and cell polarity                                   |
|       | g                  | 細胞死                      | g                                              | Cell death                                                                     |
|       | h                  | 細胞間コミュニケーション             | h                                              | Intercellular communication                                                    |
|       | i                  | その他                      | i                                              | Others                                                                         |
|       | 〔大項目5〕 細胞応答        |                          | 〔Category 5〕 Cellular Response                 |                                                                                |
|       | a                  | 細胞外シグナル分子、受容体、イオンチャネル    | a                                              | Extracellular signaling molecules, receptors, and ion channels                 |
|       | b                  | 核内受容体                    | b                                              | Nuclear receptors                                                              |
|       | c                  | Gタンパク質、シグナル伝達タンパク質       | c                                              | G proteins and signaling proteins                                              |
|       | d                  | プロテインキナーゼ、ホスファターゼ        | d                                              | Protein kinases and phosphatases                                               |
|       | e                  | ストレス応答、レドックス応答           | e                                              | Stress response and redox response                                             |
|       | f                  | その他                      | f                                              | Others                                                                         |

|       |                         |                                  |                                                                |                                                                             |
|-------|-------------------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| (小項目) | 〔大項目6〕ゲノムと遺伝情報          |                                  | 〔Category 6〕Genome and Genetic Information                     |                                                                             |
|       | a                       | ゲノム構造、全ゲノム解析、染色体                 | a                                                              | Genome structure, whole genome analysis, chromosome                         |
|       | b                       | クロマチン、エピジェネティクス                  | b                                                              | Chromatin and epigenetics                                                   |
|       | c                       | DNA複製、DNA組換え、DNAの変異と修復           | c                                                              | DNA replication, DNA recombination, DNA mutation and repair                 |
|       | d                       | 転写                               | d                                                              | Transcription                                                               |
|       | e                       | RNAプロセッシング、輸送、翻訳                 | e                                                              | RNA processing, transport and translation                                   |
|       | f                       | 非コードRNA                          | f                                                              | Non-coding RNAs                                                             |
|       | g                       | 細胞核、細胞核内構造体                      | g                                                              | Nucleus, nuclear substructures                                              |
|       | h                       | その他                              | h                                                              | Others                                                                      |
|       | 〔大項目7〕発生・再生             |                                  | 〔Category 7〕Development and Regeneration                       |                                                                             |
|       | a                       | 生殖細胞、受精                          | a                                                              | Germ cells and fertilization                                                |
|       | b                       | 初期発生、器官形成、形態形成                   | b                                                              | Embryogenesis, organogenesis, and morphogenesis                             |
|       | c                       | 幹細胞、細胞分化                         | c                                                              | Stem cells and cell differentiation                                         |
|       | d                       | 発生工学、再生医療                        | d                                                              | Developmental engineering and regenerative medicine                         |
|       | e                       | その他                              | e                                                              | Others                                                                      |
|       | 〔大項目8〕疾患生物学             |                                  | 〔Category 8〕Biology of Diseases                                |                                                                             |
|       | a                       | がん                               | a                                                              | Cancer                                                                      |
|       | b                       | 免疫、免疫疾患                          | b                                                              | Immunity and immune diseases                                                |
|       | c                       | 感染症                              | c                                                              | Infectious diseases                                                         |
|       | d                       | 代謝性疾患、生活習慣病                      | d                                                              | Metabolic diseases and metabolic syndrome                                   |
|       | e                       | 遺伝性疾患                            | e                                                              | Genetic disorders                                                           |
|       | f                       | 老化、老化関連疾患                        | f                                                              | Aging and age-related diseases                                              |
|       | g                       | 診断・検査、異物代謝、毒性学                   | g                                                              | Diagnosis, xenobiotic metabolism, and toxicology                            |
|       | h                       | その他                              | h                                                              | Others                                                                      |
|       | 〔大項目9〕神経科学              |                                  | 〔Category 9〕Neuroscience                                       |                                                                             |
|       | a                       | 神経系の発生・発達、再生                     | a                                                              | Neural development and regeneration                                         |
|       | b                       | シナプス、神経回路、学習と記憶                  | b                                                              | Synapse, neural circuit, and learning and memory                            |
|       | c                       | 感覚、運動、認知の分子・回路機構                 | c                                                              | Molecular and circuit mechanisms of sensory, motor, and cognitive functions |
|       | d                       | 神経疾患、精神疾患                        | d                                                              | Neurological and psychiatric disorders                                      |
|       | e                       | その他                              | e                                                              | Others                                                                      |
|       | 〔大項目10〕植物科学、微生物科学、農業生物学 |                                  | 〔Category 10〕Plant Science, Microbial Science, and Agrobiology |                                                                             |
|       | a                       | 植物の細胞小器官、細胞、器官形成                 | a                                                              | Plant cells, organelles, and organogenesis                                  |
|       | b                       | 植物ゲノム、オミックス解析                    | b                                                              | Plant genome and omics analyses                                             |
|       | c                       | 光合成、環境応答、植物病原応答                  | c                                                              | Photosynthesis, environmental responses, and plant pathogenic responses     |
|       | d                       | 植物ホルモンの転写制御・エピジェネティクス            | d                                                              | Plant hormones, transcriptional regulation, and epigenetics                 |
|       | e                       | 微生物学、共生                          | e                                                              | Microbiology and symbiosis                                                  |
|       | f                       | 育種学、園芸学、食品科学                     | f                                                              | Breeding science, horticultural science, and food science                   |
|       | g                       | その他                              | g                                                              | Others                                                                      |
|       | 〔大項目11〕バイオテクノロジー、新領域、進化 |                                  | 〔Category 11〕Biotechnology, Frontier Sciences and Evolution    |                                                                             |
|       | a                       | バイオインフォマティクス、情報科学                | a                                                              | Bioinformatics and information science                                      |
|       | b                       | システムズバイオロジー、合成生物学                | b                                                              | Systems biology and synthetic biology                                       |
|       | c                       | 分子進化、分類                          | c                                                              | Molecular evolution and taxonomy                                            |
|       | d                       | オミックス解析技術（ゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクス） | d                                                              | Omics analysis technologies (genomics, proteomics, and metabolomics)        |
|       | e                       | 遺伝子工学、核酸工学、ゲノム編集                 | e                                                              | Genetic engineering, nucleic acid engineering, and genome editing           |
|       | f                       | タンパク質工学、抗体工学、細胞工学                | f                                                              | Protein engineering, antibody engineering, and cell engineering             |
|       | g                       | ケミカルバイオロジー                       | g                                                              | Chemical biology                                                            |
|       | h                       | バイオイメージング、バイオセンサー                | h                                                              | Bioimaging and biosensors                                                   |
|       | i                       | その他                              | i                                                              | Others                                                                      |
|       | 〔大項目12〕その他              |                                  | 〔Category 12〕Others                                            |                                                                             |
|       | a                       | その他                              | a                                                              | Others                                                                      |

【日程表（予定）】

|             | 8 | 9 | 10                                                                 | 11 | 12                                | 13                                                                  | 14                                                             | 15                                              | 16 | 17                                    | 18 | 19                                              | 20 | 21 |
|-------------|---|---|--------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|----|---------------------------------------|----|-------------------------------------------------|----|----|
| 12/1<br>(火) |   |   | 大会企画シンポジウム<br>(120 min)<br>9:00-11:00                              |    | シンポジウム<br>(90 min)<br>11:15-12:45 | ランチョンセミナー<br>(50min)<br>12:55-13:45                                 |                                                                |                                                 |    | シンポジウム<br>(90 min)<br><br>17:00-18:30 |    | シンポジウム/<br>フォーラム<br>(90 min)<br>18:45-20:15     |    |    |
|             |   |   | シンポジウム<br>(120 min)<br>9:00-11:00                                  |    |                                   | 分子生物学会<br>キャリアパス<br>委員会企画<br>(60min)<br>12:55-13:55                 |                                                                |                                                 |    |                                       |    |                                                 |    |    |
|             |   |   | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>タ<br>ー<br>グ                          |    |                                   |                                                                     | サイエンスピッチ<br>(45min)<br>14:00-14:45<br><br>展示会見学<br>14:00-14:45 | ポスター発表・討論<br>(120min)<br>14:45-16:45            |    |                                       |    | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>タ<br>ー<br>グ       |    |    |
|             |   |   | 機器・試薬・書籍展示<br>10:00-17:00                                          |    |                                   |                                                                     |                                                                |                                                 |    |                                       |    |                                                 |    |    |
| 12/2<br>(水) |   |   | 大会企画シンポジウム<br>(120 min)<br>9:00-11:00                              |    | シンポジウム<br>(90 min)<br>11:15-12:45 | ランチョンセミナー<br>(50min)<br>12:55-13:45                                 |                                                                |                                                 |    | シンポジウム<br>(90 min)<br><br>17:00-18:30 |    | シンポジウム/<br>フォーラム<br>(90 min)<br>18:45-20:15     |    |    |
|             |   |   | シンポジウム<br>(120 min)<br>9:00-11:00                                  |    |                                   | 分子生物学会<br>キャリアパス委員会<br>企画/ジャーナルラ<br>ンチン<br>(60min)<br>12:55-13:55   |                                                                |                                                 |    |                                       |    | 分子生物<br>学会総会<br>(60min)<br><br>18:45-<br>19:45  |    |    |
|             |   |   | 柿内三郎記念賞/奨励賞<br>/JB論文賞/JB審査賞受賞<br>式・受賞講演<br>(120 min)<br>9:00-11:00 |    |                                   |                                                                     |                                                                |                                                 |    |                                       |    |                                                 |    |    |
|             |   |   | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>タ<br>ー<br>グ                          |    |                                   |                                                                     | サイエンスピッチ<br>(45min)<br>14:00-14:45<br><br>展示会見学<br>14:00-14:45 | ポスター発表・討論<br>(120min)<br>14:45-16:45            |    |                                       |    | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>タ<br>ー<br>グ       |    |    |
|             |   |   | 機器・試薬・書籍展示<br>10:00-17:00                                          |    |                                   |                                                                     |                                                                |                                                 |    |                                       |    |                                                 |    |    |
| 12/3<br>(木) |   |   | スペシャルシンポジウム<br>(200 min) 9:00-12:20                                |    |                                   | ランチョンセミナー<br>(50min)<br>12:55-13:45                                 |                                                                |                                                 |    | シンポジウム<br>(90 min)<br><br>17:00-18:30 |    | シンポジウム/<br>フォーラム<br>(90 min)<br><br>18:45-20:15 |    |    |
|             |   |   | シンポジウム<br>(120 min)<br>9:00-11:00                                  |    | シンポジウム<br>(90 min)<br>11:15-12:45 | 分子生物学会<br>研究倫理委員会ラ<br>ンチン/生化学会<br>若い研究者の会<br>(60min)<br>12:55-13:55 |                                                                |                                                 |    |                                       |    |                                                 |    |    |
|             |   |   | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>タ<br>ー<br>グ                          |    |                                   |                                                                     | サイエンスピッチ<br>(45min)<br>14:00-14:45<br><br>展示会見学<br>14:00-14:45 | ポスター発表・討論<br>(120min)<br>14:45-16:45            |    |                                       |    | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>タ<br>ー<br>グ       |    |    |
|             |   |   | 機器・試薬・書籍展示<br>10:00-17:00                                          |    |                                   |                                                                     |                                                                |                                                 |    |                                       |    |                                                 |    |    |
| 12/4<br>(金) |   |   | 大会企画シンポジウム<br>(120 min)<br>9:00-11:00                              |    | シンポジウム<br>(90 min)<br>11:15-12:45 | ランチョンセミナー<br>(50min)<br>12:55-13:45                                 |                                                                |                                                 |    | シンポジウム<br>(120 min)<br>17:00-19:00    |    |                                                 |    |    |
|             |   |   | シンポジウム<br>(120 min)<br>9:00-11:00                                  |    |                                   | 生化学会 ダイバ<br>ーシティ推進ラン<br>チン<br>(60min)<br>12:55-13:55                |                                                                |                                                 |    | 市民公開講座<br>(120 min)<br>17:00-19:00    |    |                                                 |    |    |
|             |   |   | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>タ<br>ー<br>グ                          |    |                                   |                                                                     | サイエンスピッチ<br>(45min)<br>14:00-14:45<br><br>展示会見学<br>14:00-14:45 | ポスター発表・討論<br>+ 高校生発表<br>(120min)<br>14:45-16:45 |    |                                       |    | ポ<br>ス<br>タ<br>ー<br>貼<br>付<br>タ<br>ー<br>グ       |    |    |
|             |   |   | 機器・試薬・書籍展示<br>10:00-16:45                                          |    |                                   |                                                                     |                                                                |                                                 |    |                                       |    |                                                 |    |    |

※あくまで2025年11月時点での予定であり、今後変更される可能性があります

## ◆特定非営利活動法人 日本分子生物学会 第24期第2回（臨時）理事会記録

日 時：2025 年 8 月 6 日(水) 15：00～17：00

場 所：オンライン開催（Zoom）

出席者：木村 宏（理事長）、倉永英里奈（副理事長）、後藤由季子（副理事長）、阿形清和、五十嵐和彦、石谷 太、上村 匡（Genes to Cells 編集長兼）、大谷直子、鐘巻将人、近藤 滋、斎藤通紀、佐田亜衣子、塩見美喜子、高橋淑子、中島欽一、中西 真、中山敬一、中山潤一（広報幹事兼）、二階堂愛、濡木 理、東山哲也、三浦恭子、三浦正幸、山本 卓、井関祥子（監事）、塩見春彦（監事）、岩崎由香（庶務幹事）、中川真一（庶務幹事）、稲田利文（会計幹事/2028 年会長）、深川竜郎（編集幹事）、岡田由紀（国際化担当幹事）、小林武彦（2025 年会長）、以上 32 名

委任状：糸 昭苑、胡桃坂仁志、林 克彦、原 英二、吉森 保、水島 昇（2026 年会長）、杉本亜砂子（2027 年会長）、以上 7 名

欠席者：石黒啓一郎

事務局：並木孝憲（記録）、金子香奈里、丸山 謹、山口恵子

本理事会成立について：

中川真一庶務幹事より、理事 24 名、監事 2 名、幹事 5 名、年会長 1 名が出席し、委任状 5 名（理事）を受任しており、本理事会は細則第 4 章第 8 条により成立する旨報告された。

議事録署名人の選任について：

定款の規定に従い、議事録署名人として大谷直子理事と東山哲也理事が選任された。

議 事：

### 1. 報告事項

#### 1) ホームページリニューアル

中山潤一広報幹事より、今期への申し送りとされていた学会ホームページリニューアルについて進捗の報告がなされた。ユーザーが求めている情報へスムーズにたどり着けるよう、トップページをシンプルでわかりやすいデザインとする。

#### 2) 定期預金の一部組み替え

稲田利文会計幹事より、2024 年 11 月の合同理事会における決定を受け、本学会の定期預金（流動資産）のうち 5,000 万円を特約付自由金利型定期預金の 5 年ものへ組み替えたことが報告された。（参考：約定日の適用利率によると、満期時の利息手取り額は約 175 万円となる）

### 3) Genes to Cells について

深川竜郎編集幹事より、Genes to Cells に関する直近の動向と課題について報告がなされた。ジャーナルの投稿数は堅調であり、Paper Mill は減少傾向にある。その一方で、昨年の投稿サイトに続きリニューアルが実施された査読サイトにおいて、いくつかの不具合解消に時間を要していることから、この点について Wiley へ改善要求をしている。また、本誌の投稿料が無料であること、即時 OA とする際の APC や会員割引を会員に継続周知していることなどが報告された。

次いで上村匡編集長より、木村宏理事長、深川編集幹事、学会事務局（並木）とで Genes to Cells に関する意見交換を行ったことが報告された。APC 高騰や生成 AI 導入、若年層の減少など、科学界には多くの課題が散見しており、「激動の時代を生き抜くジャーナル」にしていくなためにも、新しい読者・投稿者を開拓する企画をはじめ、編集委員の入れ替えも予定されている。

### 4) 生物物理学会との連携

水島昇第 49 回年会長に代わり、BMB2026（第 49 回日本分子生物学会年会・第 99 回日本生化学会大会 合同大会）の東山哲也庶務幹事 / プログラム副委員長より、BMB2026 組織委員会において生物物理学会との連携を決定したことが報告された。本年会は生化学会との合同開催（BMB）であり、3 学会の間で覚書を取り交わすことになる。分生・生化学会の会員は生物物理学会へ入会することなく、2026 年の生物物理学会年会（韓国で開催）に参加・発表でき、また同様に、生物物理学会の会員は分生・生化学会の会員と同等の資格で BMB2026 に参加・発表できることが、その他いくつかの資格要件と合わせて説明された。

なお、BMB2026 のプログラム集に関しては、分子生物学会と生化学会で取り扱い方法に違いがあるため、両学会の会員が同じようにプログラム情報へアクセスできるようにする方針であることが報告された。

### 2. 審議事項

#### 1) 学会資料の電子化

昨年の合同理事会において杉本亜砂子第 50 回（2027 年）年会長より「第 50 回記念企画については、例えば昔の学会資料（年会プログラム・要旨集や学会の会報など）を使って何かできないかと思案して



いる。」といった計画が述べられていた。

そこで第24期執行部は、これらの資料の中に電子化されていないものがあることをふまえ、分子生物学会が創立50周年を迎えるにあたって、まずは本学会の活動が記録された会報のバックナンバーから電子化に着手することとした。この方針とそれに伴う予算に関して倉永英里奈副理事長より説明があり、理事会で承認された。

なお、年会プログラムや要旨集の電子化については今年度の定例理事会での検討を予定している。

## 2) 国際関係予算について

- ・岡田由紀国際化担当幹事より、EMBO リーダーシップコース開催に関する予算案の説明がなされた。本プログラムは、その開催準備や運営調整を担う「次世代リーダー育成ワーキンググループ (WG 長：平谷伊智朗氏)」をキャリアパス委員会内に設置し、分子生物学会の新たな事業とすることがメールによる持ち回り審議を経て理事会の合意が得られている。今回の WG 提案は、令和7年度予算に計上されている国際関係予算(350万円)のうち、50万円を本プログラムの開催補助金に充てることを求めるものである。ただし、EMBO の講師がスケジュールの都合で参加できない場合には、EMBO Japan Branch の講師等による代替プログラムを実施する可能性も示されている。また、準備状況によっては、当該補助金50万円を年度内に執行せず、次年度予算に同様の科目を設定し、本プログラムの開催費用とする措置を含め、理事会で異議なく承認された。
- ・続いて、第48回横浜年会で導入予定の「ポケットークカンファレンス」に関し、本年会の組織委員でもある倉永副理事長より、同サービス導入にかかる費用の一部を国際関係予算から支援することについて執行部での検討経緯が報告された。同サービスはAIを活用した同時通訳サービスであり、登壇者の発言内容がリアルタイムで翻訳され、参加者のスマートフォンに文字表示される仕組みである。日本人参加者が多い分子生物学会の年会において、会員への還元という観点では英語から日本語への翻訳に潜在的なニーズがあるものと思われる。その一方で、日本語を英語へ翻訳することによって、日本語を母語としない参加者がセッションに参加しやすくなり、英語でのより深い議論に発展する期待も感じられる。この両面から執行部で検討を重ね、導入するセッション範囲と費用感、言語別講演枠数や費用からなる5つの異なるタイプが提示された。
- 続いて小林武彦第48回年会会長より、「ポケットーク

カンファレンス」の導入を決めた背景が説明された。分子生物学会年会は生命科学の様々な分野から研究者が一堂に会することがひとつの大きな魅力であり、こうした多様性を活かすためにも、進化し続けるテクノロジーを積極的に取り入れることで、議論の量を増やし、知識の質を上げていく一助になるのではないかと考えた。現在の年会予算を勘案し、本サービスの導入費用を可能な範囲で支援いただきたいとの旨が伝えられた。

自由討論では「ツールとして認知されることで、英語のセッションを敬遠していた参加者の動機付けになる。AIによる自動翻訳であり、情報セキュリティ、特にサードパーティエンジンが音声データを処理後に削除することなど、発表者への説明が必要ではないか。学会や企業等での使用実績および組織委員会での使用感からすると有用なサービスと思われるが、安価なものとは言い難い。翻訳精度は向上しているものの、本年度では初めての導入となるので大規模ではない範囲とするのがよいのではないか。」など多くの意見が交わされた。討論の後、中川庶務幹事の進行のもと、議事に参加していた理事(23名)による採決が行われた。

- ・本サービスの導入を支援することについて(1回目)

支援しない:4票、100万円を支援する:11票、  
200万円を支援する:6票、白票:2票

- ・支援する金額について(2回目)

100万円:17票、200万円:5票、白票:1票

採決の結果、第48回年会の「ポケットークカンファレンス」導入支援金として100万円を補助することとなった。従来の本部補助金500万円にこの100万円を加え、令和8年度予算において計600万円を補助する。

## 3) 年度会費の改定について

冒頭で事務局より会員現況について説明がなされた後、木村理事長より今回の年度会費改定の趣旨が述べられた。まず、改定を目指すに至った最大の理由は、物価高などの影響で生活費の負担が大きくなっている学生の年度会費を今より抑える必要があるという判断である。また、来年の年会が生化学会との合同開催であり、生物物理学会との連携も2年目となる(生物物理学会の会員は、分子生物学会あるいは生化学会へ入会することなく、BMB2026に会員区分で参加・発表が可能)。生化学会と生物物理学会では入会初年度にかかる学生会員の費用負担が分子生物学会より安価に抑えられているため、本学会への入会者が減少してしまうおそれがあること

が指摘されていた。そこで、生物系の多くの学会で数千円の学生会費が設定されている状況もふまえ、執行部において、学会の会費収入総額が均衡を保てる範囲での試算を重ね、以下の改定案が提出された。

| 会員種別  | 入会金           | 年度会費                            |
|-------|---------------|---------------------------------|
| ・学生会員 | 1,000 円(変更なし) | 3,000 円 → 1,000 円<br>(初年度は 0 円) |
| ・正会員  | 1,000 円(変更なし) | 6,500 円 → 7,500 円               |

具体的には、学生会員の年度会費を現在の 3,000 円から 1,000 円に変更、ただし新入会の際には入会金 1,000 円がかかるため初年度会費を 0 円として入会金だけ申し受けることとし、学生会員の費用負担は年 1,000 円とする。他方、正会員には現在の 6,500 円から 7,500 円に年 1,000 円の負担増をお願いするものである。なお、正会員と同額の年度会費が設定されている次世代教育会員にも同様の負担増をお願いするが、シニア会員の 3,000 円と賛助会員の一口 40,000 円は据え置き案となっている。

木村理事長からの詳細説明を受け、出席理事より次のような意見が出された。「人口減少や物価上昇を考えれば、年度会費は上げざるを得ない。学生以外の会員に支えてもらうことになるので、負担増は最小限に抑えたい。年会の参加登録費が他学会に比べ安価なので、全体としてはバランスが取れているのではないか。」。意見交換の後、議事に出席してい

た理事（22 名）による採決が行われた。

- ・年度会費の改定（執行部案）について  
賛成：21 票、反対：1 票、白票：0 票

採決の結果、年度会費の改定案は理事会で承認され、臨時総会に諮られることとなった。続いて、本改定案にもとづいた法人細則の改正案が理事会に諮られ、承認された。

最後に、木村理事長より出席者へ謝意が伝えられた。また、日本の研究力強化を目的とした科研費増額に向けた国への要望活動について、その進捗状況が共有され、今後も理事各位の継続的な協力と理解が求められた。

上記、第 24 期第 2 回（臨時）理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名する。

2025 年 8 月 6 日

特定非営利活動法人 日本分子生物学会  
第 24 期第 2 回（臨時）理事会  
議 長 木 村 宏  
議事録署名人 大 谷 直 子  
議事録署名人 東 山 哲 也

## 特定非営利活動法人 日本分子生物学会 令和7年度(第1回)臨時総会記録

日 時：令和7年9月25日(木) 15:00~15:55

場 所：オンライン開催 (Zoom ウェビナー)

社員数(正会員+名誉会員+シニア会員+次世代教育会員):  
7,687名

出席者数：4,087名(本人出席105名、表決委任者3,982名)

議事内容：

1. 冒頭に木村宏理事長より開会の辞が述べられた。  
続けて、定款第25条に基づき、本総会議長として  
岩崎由香会員が指名された。さらに定款第29条に  
基づき、議事録署名は、浦聖恵会員と木村理事長が  
担当することが確認された。

2. 岩崎議長より、定款第26条(総会の定足数)に  
基づき、上記表決委任者(委任状)を含めて出席4,087  
名(ほか学生会員13名が出席)となり、本総会は  
成立する旨報告された。

### 3. 議事

#### 1) 年度会費改定の件

木村理事長より、総会資料にもとづき説明が行  
われた。

会員数は十数年前に比べやや減少したものの、  
コロナ禍を経たのち、ここ数年は安定している。  
ただ、年別の入会者数をみると、他学会と合同  
で開催した年会(BMB2015は日本生化学会との  
合同、ConBio2017は生化学会との合同かつ37学  
会・団体による協賛)や連携した年会(MBSJ2022  
は日本生物物理学会と連携)においては本会への  
入会者数が減少、特に学生会員の入会が少なかっ  
たことがわかる。日本生態学会と連携した年会  
(MBSJ2018、MBSJ2019)はさほど影響がなかつ  
たが、これは学会の規模や分野がかなり異なって  
いたためと思われる。

分子生物学会への入会者は、一般演題とLate-  
Breaking Abstractの受付期間、そして年会開催  
の時期に大きく増加することから、本会へ入会す  
ることのモチベーションは主に年会参加であると  
考えられる。来年は9年ぶりに生化学会との合  
同開催で、さらに生物物理学会と連携することも  
決定している。これはつまり、生化学会あるいは  
生物物理学会の会員であれば、分子生物学会  
へ入会することなく本会の会員と同等の資格で  
BMB2026に参加・発表できることを意味してい  
る。加えて、それぞれの学会の入会年度にかかる  
学生会員の費用(入会金・年度会費・年会参加登  
録費の合計金額)を比較してみると、本会が数千  
円の差で最も高額となることが指摘されていた。

そこで、これらの学会によらず、今後、他の学  
会と連携した年会が開催される場合にも、生物学・  
生命科学研究に従事する学生の皆さんが分子生物  
学会へ入って活動してくれるだろうか、そのため  
に、学生会員の費用負担をできる限り抑えること  
はできないだろうかという議論が執行部や理事会  
で行われた。本会の会費収入総額が均衡を保てる  
範囲で試算を重ね、年度会費の改定案(以下)を  
臨時総会へ諮ることとなった。正会員の年度会費  
は生物系学会の中でも比較的廉価に設定されてお  
り、年会の参加登録費とセットでみても他学会に  
比べ低額に抑えられている。正会員・次世代教育  
会員の方々には、物価高などの状況の中で心苦し  
いが、約20年ぶりの会費改定にご理解をいただ  
きたい。

| 【改定案】   | 改定前       | 改定後                   |
|---------|-----------|-----------------------|
| ■入会金    | 1,000円    | 1,000円(変更なし)          |
| ■年度会費   |           |                       |
| 正会員     | 6,500円    | 7,500円                |
| 次世代教育会員 | 6,500円    | 7,500円                |
| 学生会員    | 3,000円    | 初年度0円、<br>2年目から1,000円 |
| シニア会員   | 3,000円    | 3,000円(変更なし)          |
| 賛助会員    | 一口40,000円 | 一口40,000円<br>(変更なし)   |

次いで、本総会の出欠回答フォームを通じて多  
くの意見が寄せられたことに木村理事長より感謝  
の意が伝えられた。寄せられたすべての意見(242  
件)は、会員名を伏せた状態で後日公開する予定  
である。

複数の会員から寄せられていた意見・質問を中  
心に理事長より説明がなされたのち、総会出席者  
との質疑が行われた。

#### 【複数の会員から寄せられていた意見・質問】

Q. 年度会費改定案について、なぜこの金額設定  
になったのか。

A. 以下の3点を念頭に年度会費改定シミュレー  
ションを行って検討を重ね、今回の案となった。

① 学生が年会に参加するための負担をできるだけ  
抑えたい。

② 学生会員以外の会員の年度会費を上げざるを  
得ないとしても、上げ幅は抑えたい。

③学会の会費収入が改定前と比べできるだけ均衡を保てるようにしたい。

①は「学生会員の入会金・年度会費を完全に0円にしても良いのではないか」という意見の一方で「すべて無料にして会員数を増やそうとするより、お金を払ってでも入会したいと思える魅力的な学会にして、学生会員にも帰属意識のようなものを持ってもらえると良いのでは」との意見などをふまえ、「学生会員が毎年1,000円ずつ納入すること」をベースに検討が進められた。

本会の2024年度会費納入実績や会員数データをもとに試算した結果、入会金は1,000円を変更なし、学生会員を初年度0円・2年目以降1,000円とし、正会員・次世代教育会員を1,000円値上げして7,500円とすると、現行の年度会費設定の場合に比べ50万円程度の会費減収に収まる見通しとなった。

Q. 賛助会員やシニア会員の年度会費も上げたほうが良いのではないかと。

A. 分子生物学会の賛助会員は、実質的なメリットが多いとは受け止められにくい中でサポートを続けていただいております。その会費金額を上げるよりは年会への出席などでさらに協賛を得られるようにしていくことが望ましい。また、シニア会員はリタイア後、年金生活をしながら会員を続けておられる方が多数であろうことを考慮し、据え置きとした。

Q. 学会年度会費と年会参加登録費のバランスも重要なのではないかと。

A. 年会参加登録費については、歴代の年会長ができるだけ安価にできるよう努めている。経費節減に加え、年会でより多くの参加者と企業等の協賛を集めることがポイントになってくる。

Q. 今回の年度会費改定は、日本の研究力の向上につながるかと。

A. 分子生物学会は日本の生命科学で重要な役割を担っている学会であり、できるだけ若い人には年会に参加して研究を進めてほしい。予想は難しいが、まず学生が年会に参加できることが次につながっていくと期待したい。少なからず影響があるものと思われる。

Q. 学生が分子生物学会の会員になるメリットは？

A. 分子生物学会の年会に参加して活発な議論を行えることに大きな価値を見出している学生は多いと思うが、会員を継続するメリットという点では、例えば本会の年会では「海外若手研究者招聘企画」が続けられている。これは学位を取得した後に海外で研究活動をしている若手会員が年会に参加するための旅費を補助する企画で、「会員歴3年以上」といった応募条件がある。学生の頃に入会して会員を続け、学位取得後に海外でポスドクになったような人が年会へ参加したいと思った時に活用されている。

Q. 学会には繰越金がかかなりあるが、年度会費を値上げする必要があるのか。

A. コロナ禍は多くの学会が学術集会の開催を見送らざるをえない状況にあったが、分子生物学会はオンラインやハイブリッド形式を導入することで研究発表が維持できるよう途切れなく年会を開催してきた。また、地震や津波などの自然災害で年会が開催できなくなるといった有事に対応するためには現在の繰越金は必要なラインと考えられる。なお理事会では、その必要最低限のラインより多い分の繰越金について、資産運用できないか議論がなされてきた。まずはリスクのない形で少しでも運用できるよう、大口定期預金の一部を金利のやや高い特約付き定期預金へ預け替えを行ったところである。

Q. 紙媒体での会報の配布は資源と会費の無駄遣いではないかと。

A. コロナ禍における収支改善のため、年3回刊行している会報のうち2回はPDF版のみの作成に切り替えた。今回の臨時総会出欠票で、はがきで回答された会員が2割ほどおられたことなどをみても、特に重要な情報の発信には当面紙媒体を併用していくことになるが、将来的には紙媒体をできるだけ減らしていくことが望ましいと考えている。

Q. 学生をサポートしたいが正会員も苦しい。

A. 分子生物学会では科研費増額に向けた国への要望活動を行っており、研究費だけでなく、運営費交付金の改善や大学院生の経済的サポートといった重要課題についても一緒に要望している。引き続き取り組んでいきたい。

【事前に寄せられていたそのほかの意見・質問】

Q. 学会の年度会費や懇親会費を研究費から支出

することが一般化できないか。

A. 日本学術振興会の「科研費 FAQ」によると、科研費では支出できると書かれているようだが、一般化は難しいと思われる。学会の年度会費をどこから支出しているかは所属機関や研究室、個々人で事情が異なるものの、多くの会員はご自身で支払っているのではないかと思います、特に学生の負担を減らしたいと考えている。

Q. 年会の規模など、運営面での改善も必要なのでは。

A. 分子生物学会は年会参加者やポスター発表の数、同時に走る講演セッションの数などが多く、年会を開催できる会場が限られている。その規模が大きくなると会場費が相応にかかるのはやむをえないところがある。できるだけ参加者と出展企業を増やして年会参加費を抑えられるとよい。

Q. 年度会費を前倒しで払っている場合、改定前の年度会費が適用されるか。

A. 個別の会員ごとに金額設定を変えることは難しい。今回の総会で会費改定が承認となった場合、新年度からはすべての会員に改定後の年度会費が適用となる。ご理解いただきたい。

Q. 生化学会との重複会員が多いと聞くが、統合すれば2学会分の会費より安くできるのでは。

A. 分子生物学会会員の中で生化学会にも所属している割合は、2000年代に2割強であったが2010年代に15%ほどになっており、それほど多くはない。現状ではたまに合同大会をするといった関係性が良いのではないかという理解でいる。

#### 【総会出席者からの意見・質問】

Q. 最終学年で年会参加・発表のため入会した学生が、会員を続けず学会を去ってしまうケースも想定されるのではないか。

A. その点は指摘の通りで、実際に現状で学生会員の年度会費納入率は7割程度となっており、これは年会に参加した後で研究を離れることになった学生会員が退会手続きをしないまま卒業してしまうことが主な要因となっている。学生には研究を継続してほしいが、1年だけだとしても学会に参加することには意義があると思われる。

Q. 学会の支出面についての見直しは行っているか。

A. 毎年、年会の会期中に行われている通常総会では、学会の会計に関して詳しく説明している。ぜひ参加していただきたい。

支出の抑制という点では、(前述の通り)年3回刊行している会報のうち2回はPDF版のみの作成に切り替え、印刷費や郵送費を削減している。

また、学会から毎年、年会開催補助のために支出している準備金があり、年会で黒字が出た場合にはその準備金や余剰金が学会の会計に組み込まれる。今年は学会HPのリニューアルを予定しているが、そのための予算は2024福岡年会の折の黒字分で賄える見込みである。

収入を上げられる要素としては、分子生物学会の学術誌 Genes to Cells (GtC) の収入が考えられる。よりインパクトが高まり GtC の論文を読む人が増えると学会が増収となる可能性がある。GtC を積極的に読んでもらえるよう会員の協力をお願いしたい。

採決の結果、出席者105名のうち65名より賛同の挙手があり、表決委任者(委任状)を加え、本件は承認された。第24期第2回(臨時)理事会での承認をもって追加改正された細則にもとづき、2026年度より改定後の年度会費が適用される。

#### 2) その他

木村理事長より、年会のシンポジウム講演者あてに旅行会社を装った詐欺と思われるメールが回収されていることが共有され、出席者に注意喚起がなされた。

4. 岩崎議長より閉会の挨拶があり、令和7年度臨時総会が終了した。

上記、令和7年度(第1回)臨時総会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名する。

令和7年9月25日

特定非営利活動法人 日本分子生物学会  
令和7年度(第1回)臨時総会  
議長 岩崎由香  
議事録署名人 浦聖恵  
議事録署名人 木村宏

---

## 学術賞、研究助成の本学会推薦について

本学会に推薦依頼あるいは案内のある学術賞、研究助成は、会報 No.142（6月号）および学会 HP に一覧として掲載しております。そのうち、応募にあたり学会等の推薦が必要なものについての本学会からの推薦は、賞推薦委員会または研究助成選考委員会の審査に従って行います。応募希望の方は、直接助成先に問い合わせ、申請書類を各自お取寄せのうえ、ふるってご応募下さい。

本学会への推薦依頼手続きは、学会 HP に記載の詳細記事よりご確認ください。なお、財団等の推薦書類提出締切日の1カ月前を学会への応募締切としています。

提出期限後に受取った場合や、提出書類が不備な場合は、選考の対象にならないことがありますのでご注意ください。

### ■各種学術賞（学会推薦）に関する留意事項■

委員会の内規により、外部財団等の各種学術賞への推薦は、原則として一人につき年度あたり1件となっておりますので、ご了解ください。

※本学会の事業年度は10月1日から翌年9月30日までです。

重複申請があった場合、すでにある賞等の推薦が決定されている候補者は、それ以降審査する他の賞等の推薦候補者として原則的に考慮いたしません。応募に際し、ご注意くださいようお願いいたします。

### ■研究助成（学会推薦）に関する留意事項■

学会推薦した会員が財団等の研究助成対象者となった場合には、その研究成果を将来、学会誌「Genes to Cells」に論文あるいは総説として発表して頂くように要請いたします。

応募に際しては、その旨をご了解くださるようお願いいたします。

## 第24期役員・幹事・各委員会名簿

### 理事長

(任期：2025年1月1日～2026年12月31日)

木村 宏 (科学大・総合研究院)

### 副理事長

倉永英里奈 (京大・薬 / 東北大・生命)、後藤由季子 (東大・薬)

### 理事

阿形 清和 (基生研 / 京大・名誉教授)

五十嵐和彦 (東北大・医)

石黒啓一郎 (千葉大・医)

石谷 太 (阪大・微研)

上村 匡 (京大・医学生研)

大谷 直子 (大阪公大・医)

鐘巻 将人 (遺伝研)

糸 昭苑 (科学大・生命理工学院)

胡桃坂仁志 (東大・定量研)

近藤 滋 (遺伝研)

斎藤 通紀 (京大・医)

佐田亜衣子 (九大・生医研)

塩見美喜子 (東大・理)

高橋 淑子 (京大・理)

中島 欽一 (九大・医)

中西 真 (東大・医科研)

中山 敬一 (科学大・総合研究院)

中山 潤一 (基生研)

二階堂 愛 (理研・BDR / 科学大・総合研究院)

濡木 理 (東大・理)

林 克彦 (阪大・医)

原 英二 (阪大・微研)

東山 哲也 (東大・理)

三浦 恭子 (九大・医)

三浦 正幸 (基生研)

山本 卓 (広島大・ゲノム編集センター)

吉森 保 (阪大・医)

(五十音順)

### 監事

井関 祥子 (科学大・医歯)、塩見 春彦 (千葉大・cNIVR)

### 幹事

庶務幹事 岩崎 由香 (理研・IMS)、中川 真一 (北大・薬)

会計幹事 稲田 利文 (東大・医科研)

編集幹事 深川 竜郎 (阪大・生命)

広報幹事 中山 潤一 (基生研)

国際化担当幹事 岡田 由紀 (東大・定量研)

### 第24期執行部

木村理事長、倉永副理事長、岩崎庶務幹事、中川庶務幹事、稲田会計幹事、中山広報幹事、岡田国際化担当幹事

### Genes to Cells 編集長

上村 匡 (京大・医学生研)

### 賞推薦委員会

高橋淑子 (委員長)、大谷直子、二階堂愛、林 克彦、三浦正幸

### 研究助成選考委員会

塩見美喜子 (委員長)、五十嵐和彦、中島欽一、中山敬一、吉森 保

### キャリアパス委員会

胡桃坂仁志 (委員長)、甲斐歳恵、香月康宏、鐘巻将人、黒岩麻里、佐田亜衣子、篠原美紀、末次正幸、藤 泰子、平谷伊智朗、三浦恭子、三嶋雄一郎

### 次世代リーダー育成ワーキンググループ

平谷伊智朗 (WG 座長)、小宮怜奈、関根清薫、竹俣直道、寺川 剛、服部奈緒子、岡田由紀、斉藤典子

### 研究倫理委員会

糸 昭苑 (委員長)、石黒啓一郎、原 英二、東山哲也、山本 卓

### 生命科学教育

石谷 太 (担当理事)、篠原 彰 (委員)

---

## 日本分子生物学会 賛助会員一覧

(2025 年 11 月現在)

アサヒグループホールディングス株式会社  
株式会社エー・イー企画  
一般財団法人化学及血清療法研究所  
科研製薬株式会社 新薬創生センター  
コスモ・バイオ株式会社  
株式会社 seeDNA 法医学研究所  
第一三共株式会社  
タカラバイオ株式会社 事業開発部  
株式会社ダスキン 開発研究所  
中外製薬株式会社  
株式会社東海電子顕微鏡解析  
東洋紡株式会社 バイオプロダクト営業部  
株式会社トミー精工  
ナカライテスク株式会社  
日本甜菜製糖株式会社 総合研究所第二グループ  
浜松ホトニクス株式会社 システム営業部  
フナコシ株式会社  
三菱ケミカル株式会社  
ヤマサ醤油株式会社 R&D 管理室  
湧永製薬株式会社 研究管理部研究管理課

(20 社、50 音順)



■第 48 回日本分子生物学会年会 (MBSJ2025)

公式ウェブサイト

<https://www.aeplan.jp/mbsj2025/>

X (旧 Twitter) アカウント

[https://x.com/mbsj\\_2025/](https://x.com/mbsj_2025/)

■第 49 回日本分子生物学会年会・

第 99 回日本生化学会大会 合同大会 (BMB2026)

公式ウェブサイト

<https://www.aeplan.jp/bmb2026/>

■日本分子生物学会

公式ウェブサイト

<https://www.mbsj.jp/>

Facebook アカウント

<https://www.facebook.com/mbsj1978/>

X (旧 Twitter) アカウント

[https://x.com/MBSJ\\_official](https://x.com/MBSJ_official)

Bluesky アカウント

<https://bsky.app/profile/mbsj.official.bsky.social>



特定非営利活動法人

日本分子生物学会 事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-11-5

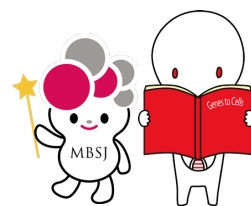
人材開発ビル 4 階

TEL: 03-3556-9600 FAX: 03-3556-9611

E-mail: [info@mbsj.jp](mailto:info@mbsj.jp)



# Genes to Cellsで おトクに出版



費用をかけずに  
論文を出したい

Genes to Cellsでの論文出版は  
原則として**無料**です！

このとき、最初の6ヶ月間は有償アクセス ※1  
ですが、その後は無償公開されます！

※1：論文が収載された号の出版日から起算し6ヶ月間。  
なお、分子生物学会員は無償アクセス可能です。  
手続方法は右の二次元コードからご確認ください。



即時オープンアクセス  
(OA) で出版する必要  
がある

Hybrid Journalなので、**即時のOAも選択可能**です。  
この場合、**APC (掲載料) ※2** をお支払いいただく  
必要がありますが、各種割引があります。  
下のフローチャートを参照してください。

※2：3,800米ドル (2025年11月現在)

## APC (掲載料) 割引 フローチャート

お気軽にお問い合わせください  
Genes to Cells編集室  
office@genestocells.jp

責任著者の所属機関が  
Wiley社と転換契約を  
結んでいる ※3

Yes

大幅な割引が適用されます。

手続き方法の詳細・自己負担額は、  
所属機関にご確認ください。

No

著者のうち1人以上が  
分子生物学会の会員

Yes

会員割引 ※4 が利用可能です。  
アクセプト後に、会員氏名と  
会員番号を編集室へお知らせ  
ください。  
折り返し、クーポンコードを  
お知らせします。

No

この機会に  
分子生物学会への入会を  
ご検討ください

入会後

未入会の方は、通常の出版手続きを  
優先して行い、入会手続き完了後に  
OAの申し込みをしてください。

※3：最新のリストは、右の二次元コードからご確認  
いただけます。

※4：3,800米ドル→3,000米ドルへ割引されます。  
(2025年11月現在)



割引の併用はできません。

# The Molecular Biology Society of Japan NEWS

日本分子生物学会 会報

(年 3 回刊行)

第 143号 (2025年11月)

発 行——特定非営利活動法人 日本分子生物学会

代表者——木村 宏